

(指定管理者記入様式)

指定管理者自己評価結果

指定管理者	社会福祉法人 大東市社会福祉協議会
事業期間	令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日
管理体制	令和 8 年 3 月 31 日現在 【事務局】 総括責任者 1 名 (正職員) 主担当 1 名 (正職員) 事務員 3 名 (嘱託職員、パート職員) の 5 名体制 【児童クラブ】 支援員・支援員補助 58 名 (パート職員) (内、障害児加配による職員 12 名)
職員の勤務状況	【事務局】 平日 9:00～17:30 【児童クラブ】 平日 13:30～19:00 但し、学校の短縮事業等により開所時間が 早まる場合有 土曜日 8:00～17:00 長期休業日 8:00～19:00 二交代制による勤務

1. 施設のサービス水準等

(1) 業務内容

項目	内容	協定事項等	実施状況 (実績値等)	サービス状況 (課題・達成度等)
運営業務	開所時間 及び休所日	【平日】 13:30～18:00 (希望者 19 時まで 延長) 【土曜日】 8:00～17:00 【学校休業日】 春季・夏季・冬季	条例・協定に基づき適 正に処理した。	条例・協定に基 づき適正に処理 した。

		休業日等の土曜日を除く 8:00～18:00 (希望者 19 時まで延長) 【閉所日】 日曜日・祝日および 8 月 12 日～15 日 12 月 29 日～ 翌年 1 月 3 日 災害時等・学校 臨時休業日		
	受付・案内	適切な受付・案内業務の実施	職員の受付業務については、親切丁寧な対応を心掛けるように徹底し業務を遂行した	丁寧で分かりやすい対応を徹底し、利用者の安心感向上に努めた。夏季利用のオンライン申込に加え、次年度の継続申請についても電子化を実施し、利用者の利便性向上及び事務処理の効率化を図った。
	料金設定	放課後児童クラブ条例第 10 条による	条例の規定どおり	条例・協定に基づき適正に処理した。
	広報・宣伝	ホームページの維持管理や案内チラシの配布	ホームページにより入所案内や各児童クラブの活動内容の発信 新入所対象者に対して	ホームページや市広報誌、案内チラシ等を活用し情報発信を行った。加えて、SNS を活用

			幼稚園児等の卒園児へ入所案内を配布 新入所や夏季休業日限定利用者等の募集については、市広報誌に掲載依頼	し、児童の活動の様子や支援員の様子を発信することで、施設の取組を分かりやすく周知した。今後も、より効果的な広報手法を検討し、利用者への周知の充実を図る。
施設維持管理業務	清掃・保守点検等	施設維持保全業務等	日々の清掃を徹底し、感染予防対策として、児童が接触する箇所の定期的な消毒を実施	日常清掃を徹底するとともに、事務局による定期的な訪問時の確認においても、施設内が清潔に保たれていることを確認している。また、施設内の環境整備の一環として、不要物品の廃棄（粗大ごみ）を事務局にて実施した。今後も児童の安全を考慮し、定期的な点検及び清掃業務の徹底を図る。
	修繕	予算の範囲内で実施	放課後児童クラブ修繕一覧（別紙１）のとおり	予算の範囲内で緊急度の高いものから適正に実施している。
施設利用等	利用者数	サービスの向上や広報活動などを実施し、利用者の増加に努める	令和７年度利用者数【平日】 延べ人数 212,332 人 月平均 17,694 人	今後も児童・保護者が安心して任せてもらえるような施設の運営

			【土曜日】 延べ人数 3,327 人 月平均 277 人	を心掛ける。
	利用料金	放課後児童クラブ条例第 9 条によるものとする	令和 7 年度利用料金 【調定金額】 件数 14,580 件 金額 95,797,435 円 【納入金額】 件数 14,564 件 金額 95,703,485 円 【未納金額】 件数 14 件 金額 93,950 円 8 月に夏休み利用取消しによる還付が 2 件あり	生活保護世帯及び非課税世帯については全額免除、児童扶養手当受給世帯については半額免除
	利用率	サービスの向上を図り、利用者の増加に努める	(別紙 2) 放課後児童クラブ利用状況表のとおり	児童クラブ利用者は年々増加傾向にあるため、支援員の確保が急務である。
自主事業	令和 7 年度実施分(事業計画書参照)	協定書(事業仕様書)に実施を義務付けられた事業を実施する	(別紙 3) 放課後児童クラブの事業報告書のとおり	本年度も、各種教室やボランティア団体との交流会等も増え、映画観賞会や行事イベントなど多くの体験をさせることができた。
その他業	施設の運営体制	本市市民の優先雇用に努める	本年度雇用 96 名 支援員等 59 名 パート職員 37 名	令和 6 年度に比べ、支援員数の増員に成功した

			本市の市民は 72 名 支援員等 47 名 パート職員 25 名	が、現在もパート職員に頼る運営を行っており、令和 8 年度については、更に、支援員新規雇用の強化を図る。
	基本的人権の尊重	人権を尊重した施設運営を行う	全職員を対象に人権研修を実施し周知徹底を行っている。	本年度はセクシュアルマイノリティ言葉の暴力」をテーマに人権研修を実施し、児童の人権について学び、接し方等の手法の正しい知識を習得することができた。
	職員研修	管理運営に必要な研修業務の実施を行う	別紙 4 のとおり (研修一覧)	人権研修・支援員研修を実施することで職員間、保育業務や保護者への対応など、職員の意識向上につながった。
	個人情報保護	管理運営に係る個人情報の取り扱いに関し、大東市の取り扱いに準じる	個人情報の取り扱いに関して、細心の注意を払い適正な措置を講じた。	今後も個人情報保護の万全に努める。
	情報公開	管理運営に係る情報の公開に関し、大東市の取扱いに準じる	本年度における情報公開請求はなかったが、請求時には、適正に措置を講じられるよう事務処理を行っている。	今後も条例を遵守し、必要に応じて適切な対応を行う。

	事故等への対応	あらゆる緊急事態、不測の事態に適切な措置を講じ、関係機関への連絡および、連携を行う危機管理体制の構築および災害時対応訓練を実施する	マニュアルに沿った対応と防災訓練等の実施を行っている。	事故発生時は迅速な対応ができるよう、職員への研修や訓練などを定期的実施し、児童の安全を最優先に努める。
	環境問題	環境に配慮した取り組みを実施	定期的な訪問や主任会議、LINEWORKSを通して光熱水費の削減協力や節約などを周知し、各児童クラブで実施している。	水道光熱費等の削減や環境に配慮した取り組みを日々行っているが夏場などは熱中症対策などで削減が難しかった。

（２）利用者満足度

利用者アンケートの項目・実施結果および市民からの意見・要望等

利用者アンケートの項目・実施結果を掲載(別添)

市民から意見・要望等

（３）収支状況

「放課後児童クラブ収支報告書（令和７年度）」（別紙５）のとおり

２．総合評価

業務内容（運営業務、施設維持管理業務、施設利用等許可業務）について評価
放課後児童クラブ業務については、「放課後や学校休業日（夏休み等）における安全な遊び場及び生活の場の提供並びに健全育成を図ること」を目的として運営を行っており、令和７年度においても、大きな事故や怪我等なく、児童が安全に過ごすことができた点は評価できる。 また、各クラブにおいて、お誕生日会や季節ごとのイベント等を実施し、職員が創意工夫を凝らしながら、利用児童が楽しめる環境づくりに努めた。加えて、各種教室やボランティア団体との交流を通じ、知識の習得や豊かな感性の育成につながる取組を実施しており、高く評価している。 一方で、一部クラブにおいて、職員の服務規律及び職場運営に関する課題が確認されたため、事実確認を行ったうえで、関係職員への指導等を実施するとともに、配置体制の見直しを行った。再

発防止に向けては、支援員マニュアルの見直しや職員研修の実施、組織内の情報共有体制の強化を図り、適正なクラブ運営に努めている。

今後も、利用児童及び保護者が安心して利用できる放課後児童クラブの運営に向け、事務局及び支援員等が連携し、より適切な運営に努めていく。

業務内容（自主事業、その他業務）について評価

各児童クラブにおいて、昨年度より多くの行事やイベントを実施し、お化け屋敷やクリスマスイベント、夏祭り等、季節に応じた催しを通じて、児童が楽しみながら過ごせる環境づくりに努めた。
また、クラブ間交流を目的としたドッジボール大会も実施し、児童同士の交流促進につながったものと評価している。

特に、1月に実施した「映画鑑賞会」については、利用児童から継続開催を希望する声が多く寄せられるなど、満足度の高い事業として実施することができた。

また、継続利用申請における電子申請を引き続き実施し、保護者の利便性向上及び申請受付等に係る事務の効率化につながったものと評価している。

今後も、放課後児童クラブにおける各種申請及び事務手続きのＩＴ化を進めるとともに、各児童クラブにおける事務作業の削減や会議のＺｏｏｍ化等を進め、業務の効率化及び利用者サービスの向上に努めていく。

利用者満足度について評価

令和7年度10月に実施した「アンケート調査」についても、電子アンケートとして実施しました。
結果としましては、79%ではありましたが「満足」「やや満足」しているとの回答がありました。
良い結果では「学校よりも楽しい」や「先生が優しい」、「イベント等の工夫が嬉しい」等の意見が多くありました。

しかし、「教室が狭い」や「先生の言葉使いが悪い」、「情報提供をしてほしい」等の意見もあり、これらのアンケート結果をもとに改善にとり組んでまいりたいと考えております。

今後も、利用者満足度を更に向上させるべく、事務局、支援員等が一丸となって、努力を行ってま

います。

収支状況について評価

令和 7 年度中の入所者数は、年平均で 1,222 名となり、前年度より 13 名の減少となった。

一方で、調定額については 2,659,175 円の増加となっており、放課後児童クラブに対する利用ニーズは引き続き高い状況にあると考えられる。

徴収率については、令和 6 年度の 99.68%に対し、令和 7 年度は 99.9%と上昇しており、引き続き、適切な利用料徴収及び滞納対策に努めていく。

支出面については、これまでどおり不要な支出の削減に努めるとともに、軽微な修繕については可能な範囲で事務局職員が対応し、経費の抑制に努めた。